M176－0～3
新お年寄りスーツ　S~LL ｻｲｽﾞ

ユーザーズマニュアル（130822）

－ＩＮＤＥＸ－

！ ご注意	商品到着時、すぐに本体と付属品を御確認頂き、不備、破損等ありましたら弊社または販売店まで御連絡頂けます様お願い申し上げます。

株式会社坂本モデル

はじめに

この度は弊社商品　新お年寄り体験スーツ　をご購入頂きまして

誠に有難うございます。

商品を長く正しくお使い頂くために本ユーザーズマニュアルを

よくお読みいただきご使用下さいます様お願い申し上げます。

尚、商品出荷時製品の点検は十分に行っておりますが、商品

到着時すぐ開梱し、本体及び付属品の不足、破損個所等が無い

か点検して下さい。

もくじ

目的

お年寄りの様々な症状を体験する。

内容

1	本体	1 体
2	首抑制ベルト	1 本
3	ゴーグル	1 個
4	ひじ抑制ベルト	2 本
5	ひざ抑制ベルト	2 本
6	手首用おもり	4 個
7	足首用おもり	4 個
8	折りたたみ杖	1 本
9	耳栓	20 組
１０	手袋	10 組
１１	首ベルトカバー	100 枚

取扱上の注意

1　体験学習は必ず援助者の介助のもとに２人以上が一緒になり行ってください。

2　道路上や段差のある場所では歩行の際、転倒に注意してください。
また、物を落す危険もあります、十分注意してください。

3　おもりは鉛玉を用いていますので袋が破れて散乱したり、子供が飲み込んだりしないよう十分注意してください。

4　折りたたみ杖は取り出すと、ゴムの作用によって自然に伸びます。取り出しには十分気を付けてください。

5　本体は洗濯可能ですが、本体内側胸部あたりにあるタグをご覧になり、指示に従ってください。洗濯するときは、手首・足首用おもり、首・ひじ・ひざ抑制ベルトをはずして洗濯してください。

6　洗濯回数によっては、ベルトの留め具、プリント文字などがもろくなることがあります。ご了承ください。

7　ひじ・ひざ抑制ベルトが混同した場合は小さいほうのベルトがひじ抑制ベルトになります。また、おもりが混同した場合は軽いほうが手首用になります。

8　使用中異常を見つけられたら、すぐに使用を中止し弊社または販売店までご連絡ください。

9　本製品は高度な訓練を実現させたシミュレーターですが、実際の処置での同様の効果を保証するものではございません。

１０　本製品は改良のため、予告なしに仕様変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

使用手順

必ず援助者の介助のもとに２人以上が一緒になり行ってください。

１　本体

・商品発送時本体には、首・ひじ・ひざ抑制ベルト、手首・足首用おもりがすでに装着されています。そのまま装着することもできますが、装着しにくい場合は、取り出してから装着してください。
・胸部、腹部、大腿部にあるﾏｼﾞｯｸﾃｰﾌﾟを付けてください。
・胸部、大腿部にある留め具は以下の各装具を装着後留めてください。留め具のベルトの長さを変えることにより、腰の曲がり具合を調節できます。

２　首抑制ベルト

・ベルトは商品発送時本体に装着されています。本体洗濯時は外してください。
・外した場合はベルト凸部にある白ﾏｼﾞｯｸﾃｰﾌﾟ（オス太）を本体背面にある白ﾏｼﾞｯｸﾃｰﾌﾟ（メス）へ付けてください
・ベルト装着は衛生面を考慮し、使用手順３番の首ベルトカバーを使用されることをお勧めいたします。
・ベルトを首ベルトカバーごと装着者の首に巻きながら２本ある赤のﾏｼﾞｯｸﾃｰﾌﾟ（メス）を反対側の赤ﾏｼﾞｯｸﾃｰﾌﾟ（オス太）へ付けてください。

３　首ベルトカバー

・１００枚セットになっておりますので、１枚ずつ取出して使用してください。
・カバーの端を首抑制ベルト背面にある白ﾏｼﾞｯｸﾃｰﾌﾟ（細）に這わせるように付けていきます。その後、首抑制ベルト表面に垂らしてください。

４　ひじ・ひざ抑制ベルト

・商品発送時本体に装着されています。本体洗濯時は外してください。
外した場合はベルト裏側（白い面）両端にあるどちらかのﾏｼﾞｯｸﾃｰﾌﾟ（オス）を本体ひじ、ひざ部にある白ﾏｼﾞｯｸﾃｰﾌﾟ（メス）に付けてください。
・ベルトをそれぞれ装着者のひじ・ひざに合わせて巻き付け、ﾏｼﾞｯｸﾃｰﾌﾟで固定してください。
・ベルトの締めすぎには十分注意してください。

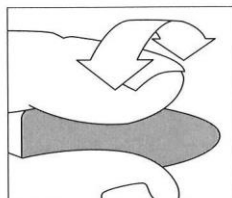
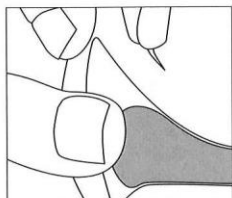
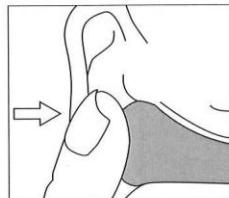
（５番以降は次ページへ続く）

5　手首用・足首用おもり

・商品発送時本体に装着されています。本体洗濯時は外してください。
・取り出した場合は、本体手首、足首にある赤ポケットへそれぞれ入れてください。
・おもりは鉛玉を用いていますので袋が破れて散乱しないよう、また子供が飲み込んだりしないよう十分注意してください。

6　ゴーグル

・頭の後ろにベルトをかけて長さを調整してください。
・メガネをかけたままでも装着可能です。
・ゴーグルに同梱しております取扱説明書をよく読んでからご使用ください。

7　耳栓

清潔な手で耳栓の中央をつまみ、左右にひねるようにもみつぶします。

すぼんだ状態のまま、やさしく耳に添えるようにいれます。

挿入された耳栓は、次第にもとのふくらみまで戻りますので、軽く押さえて固定させてください。

8　手袋

・右手用、左手用があります。「お年寄り体験中」の文字が手の甲にくるように装着してください。

9　折りたたみ杖

・杖は取り出すと、ゴムの作用によって自然に伸びます。取り出しには十分気を付けてください。
・杖は長さの調節が可能です。詳しくは同梱の取扱説明書をご覧ください。

保管方法

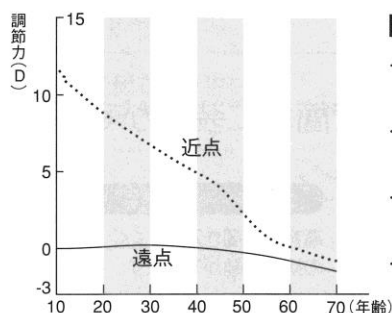
1　本体は洗濯可能ですが、本体内側胸部あたりにあるタグをご覧になり、指示に従ってください。洗濯するときは、手首・足首用おもり、首・ひじ・ひざ抑制ベルトをはずして洗濯してください。

2　本体および杖は小さく折りたたみ、それ以外のパーツと共にバッグに収納してください。

3　直射日光の当たる所や、高温多湿の所での保管は避けてください。

老化に伴う各機能の変化

特殊ゴーグル

このゴーグルは、老化に伴う水晶体の混濁による見えにくさや青色、緑色が識別しにくいといった状況を体験できるよう設計されています。(以下の資料を参照して製作しました)

目の老化による変化

・視力の近点と遠点の調節機能が低下し、速度の速い変化において周囲の物や色が確認されにくくなります。

・水晶体の混濁、または白内障の進行によって眩しさが増し、夏の陽光や反射、直接照明も眩しく感じるようになります。

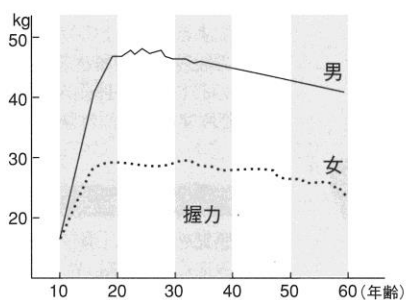
・青色・緑色は識別しにくいが黄色・橙色・赤色はよく見えるといった色彩によっては見え方が変わってきます。

・図からでは年齢が45歳前後から近点の調節力が急速に衰えてきます。そして70歳以降では近点、遠点共に少しずつ衰えていきます。

手 袋

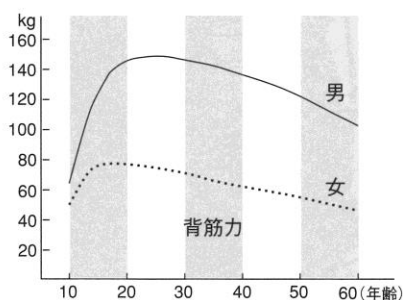
特製の極薄の手袋により老化による握力の低下や指の皮膚表面がかさかさになることに伴う物の持ちにくさを体験できます。

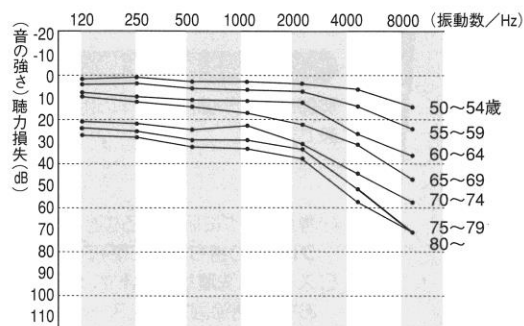
老化による握力の変化

・握力は20歳前後をピークに徐々に低下していきますが男女共顕著な握力低下はありません。

スーツと杖

スーツに取り付けられたベルトは、背筋力の低下による行動の不自由さを体験できるよう設計されています。また、これによって杖の必要性を理解できます。

老化による背筋力の変化

・背筋力は20歳から30歳くらいが最高で60歳以降ではピーク時の約70%くらいになります。

耳 栓

耳栓は高音域の音を40%以上カットするという特性をもっており、老化に伴って甲高い声が聞き取りにくくなるという聴力の低下を体験するのに適したものになっています。

老化による聴力変化

・老人性難聴は個人差もありますが、70～80dB(デシベル)まで聴力レベルが落ち、高度難聴領域になることがあります。

・老人性難聴では甲高い音が聞き取りにくくなり、耳元で言えば会話はできるが、たいていの子音の聞き分けが困難になります。

※30dB以上損失すると生活に不便。

※「お年寄り体験スーツ」は上記のデーターを基に製作しました。(形態別介護技術　老人介護　資料5.6.10より引用)

※この体験項目のページを体験者の数に応じコピーしてご使用ください。

生徒氏名 ____________________

	体験すること	感想記録	体験した事柄をチェックしてください
1	自動販売機で飲み物を買うまねをする		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ
2	電話をかける真似をする		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ
3	洋式トイレに座る		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ
4	階段を昇る/階段を降りる		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ
5	浴槽を出入りする		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ
6	自分の氏名を記入する		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ
7	新聞・本などを読む		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ
8	びんの蓋をあける		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ
9	ドアを開け閉めする		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ
10	財布からお金を出す		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ
11	テレビ・ビデオなどのリモコン操作をする		□介助をした　□老人 □体験をした　□片マヒ

その他、生徒自身で工夫してさまざまな体験を試みてください。